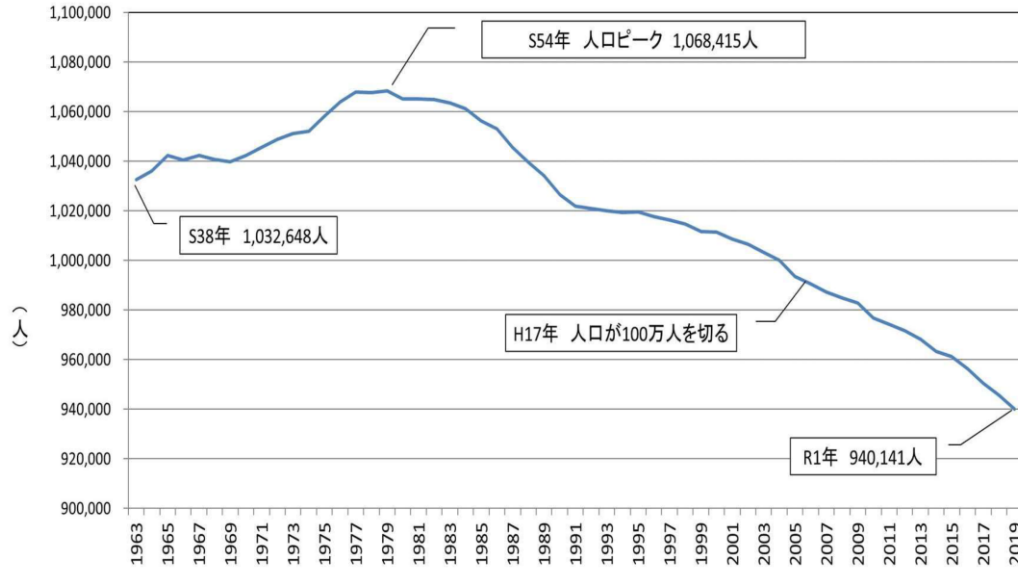


人口動態・産業・周辺の高校の状況等について

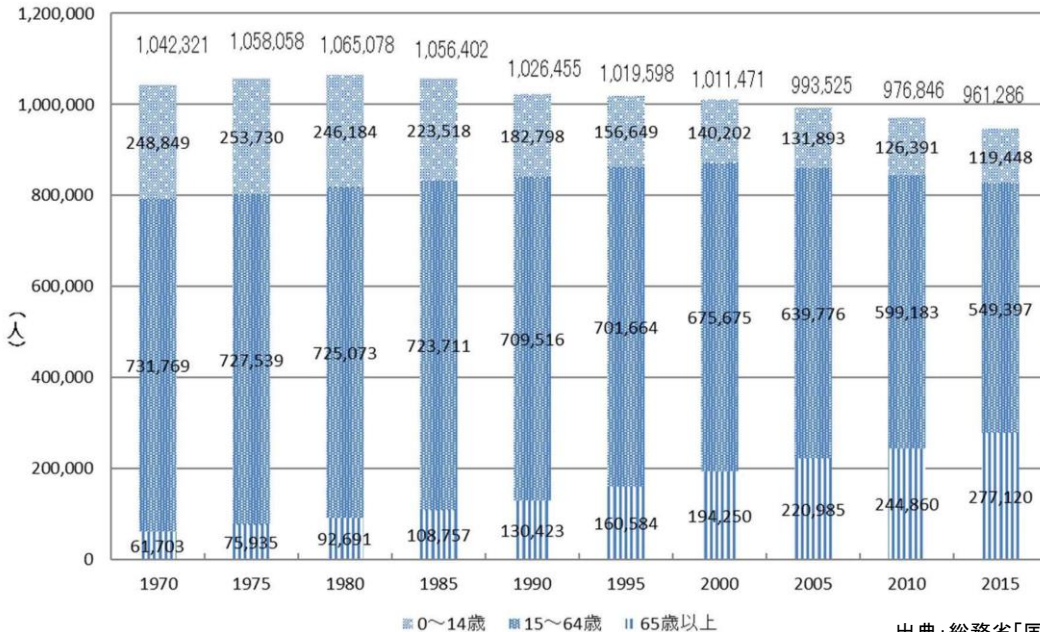
令和2年5月19日

北九州市の人口動態

1. 北九州市の人口推移



出典：北九州市「推計人口、及び推計人口移動状況」

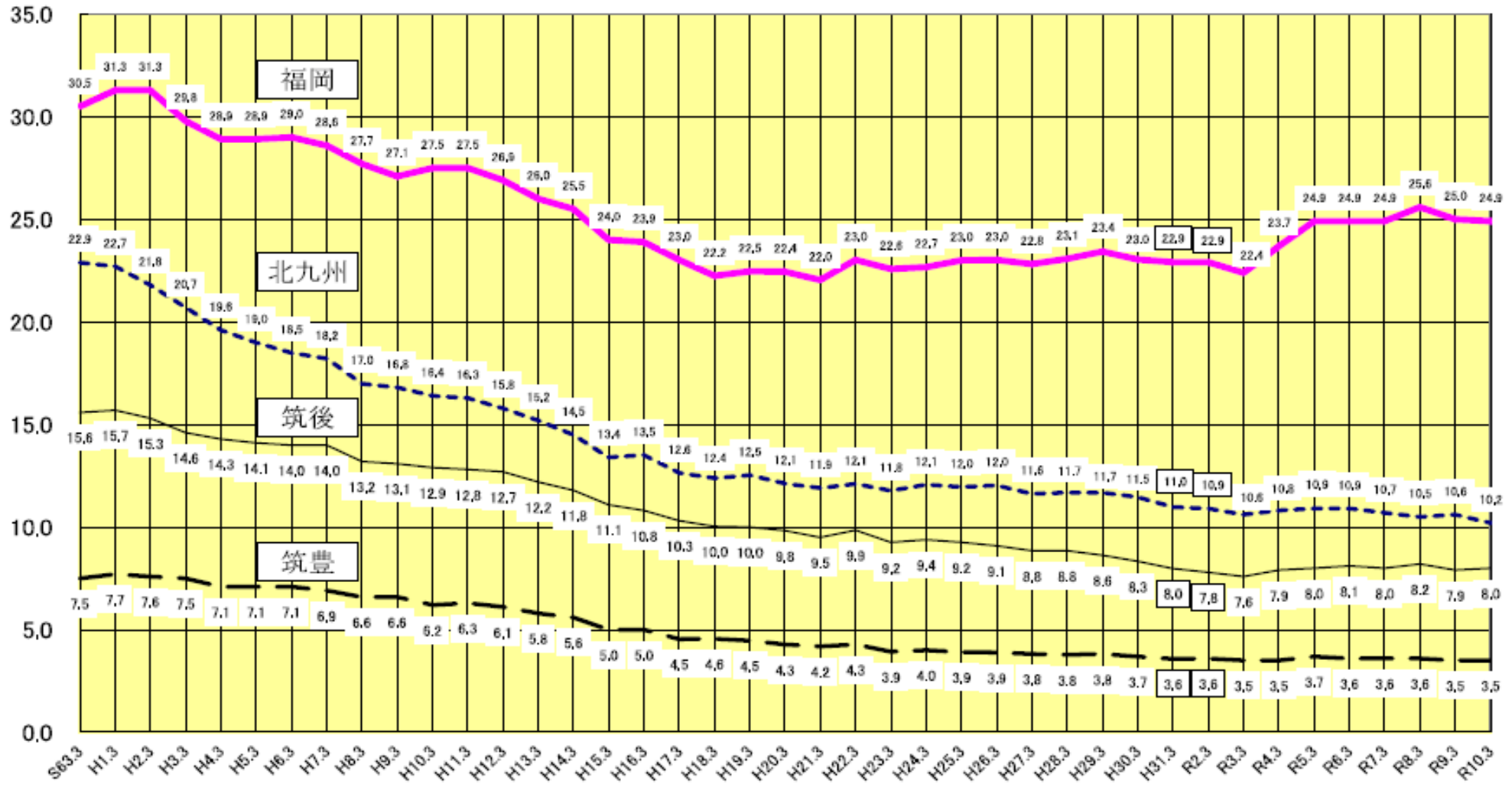


出典：総務省「国勢調査」

中学校卒業生数の推移

中学校卒業生数の推移(地区別)

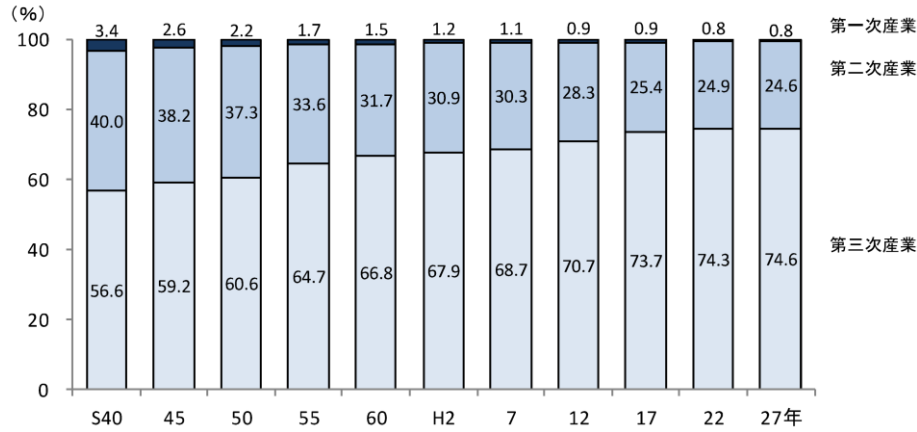
千人



出典:「令和2年度県立高等学校等入学定員について」福岡県教育庁教育振興部高校教育課

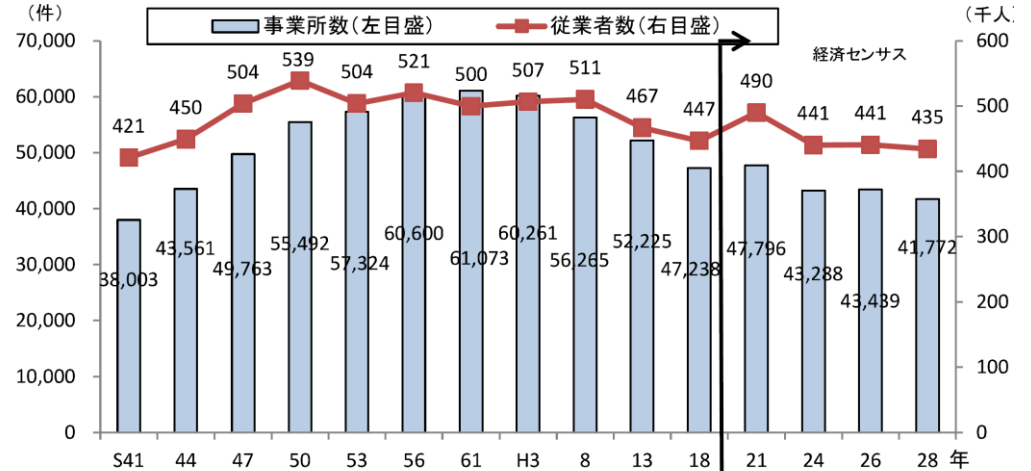
北九州市の事業所数と従業者数

1. 市内常住15歳以上就業者数の産業別構成比の推移



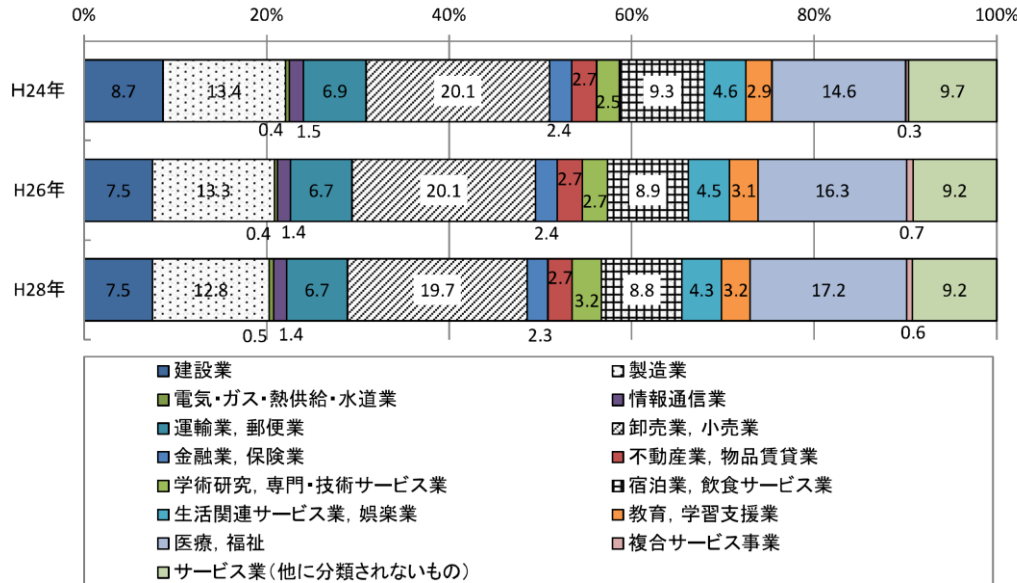
資料)総務省「国政調査」

3. 北九州市の事業所数と従業者数の推移



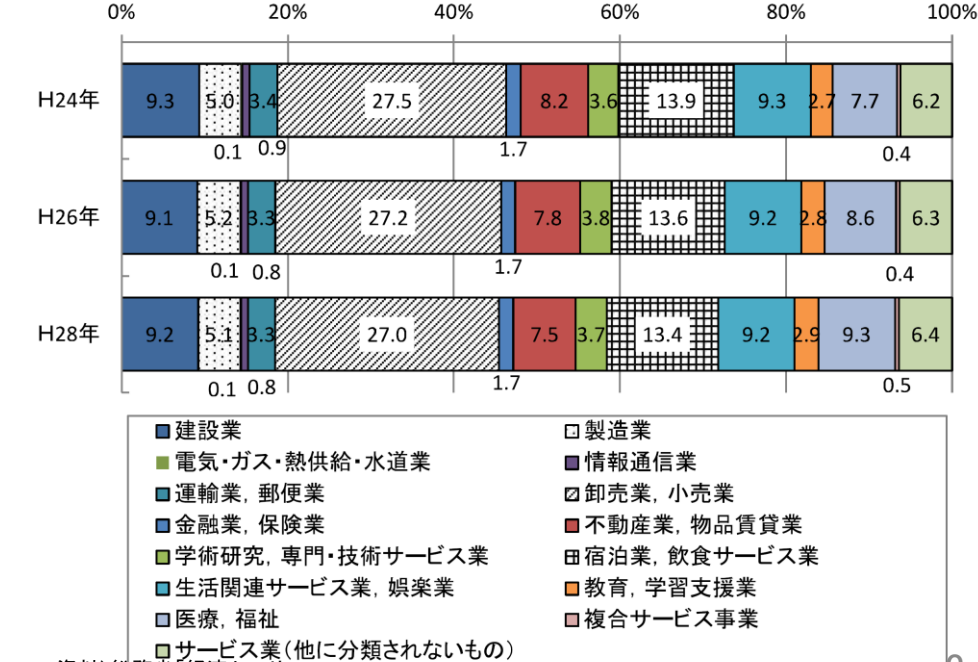
注)平成21年度以前は民営以外を含む全事業所の数値、平成24年度以降は民営事業所の数値
資料)総務省「事業所・企業統計調査」(平成18年度まで)、総務省「経済センサス」(平成21年度以降)

2. 市内従業者数の産業別構成比の推移(非農林・鉱業<公務を除く>)



資料)総務省「経済センサス」

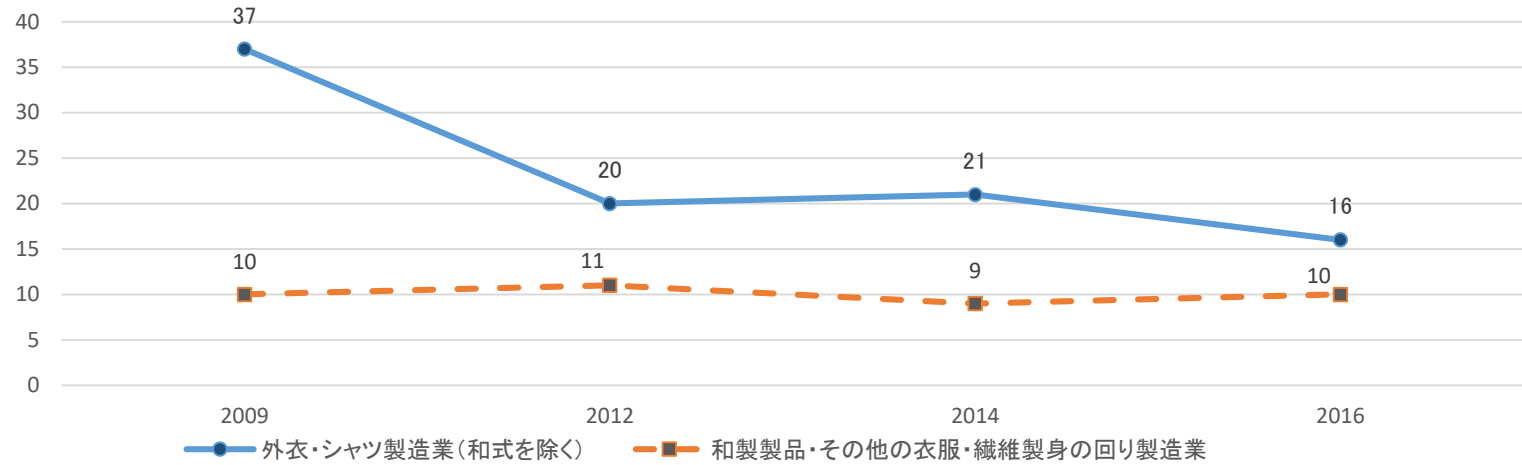
4. 市内事業所数の産業別構成比の推移(非農林・鉱業<公務を除く>)



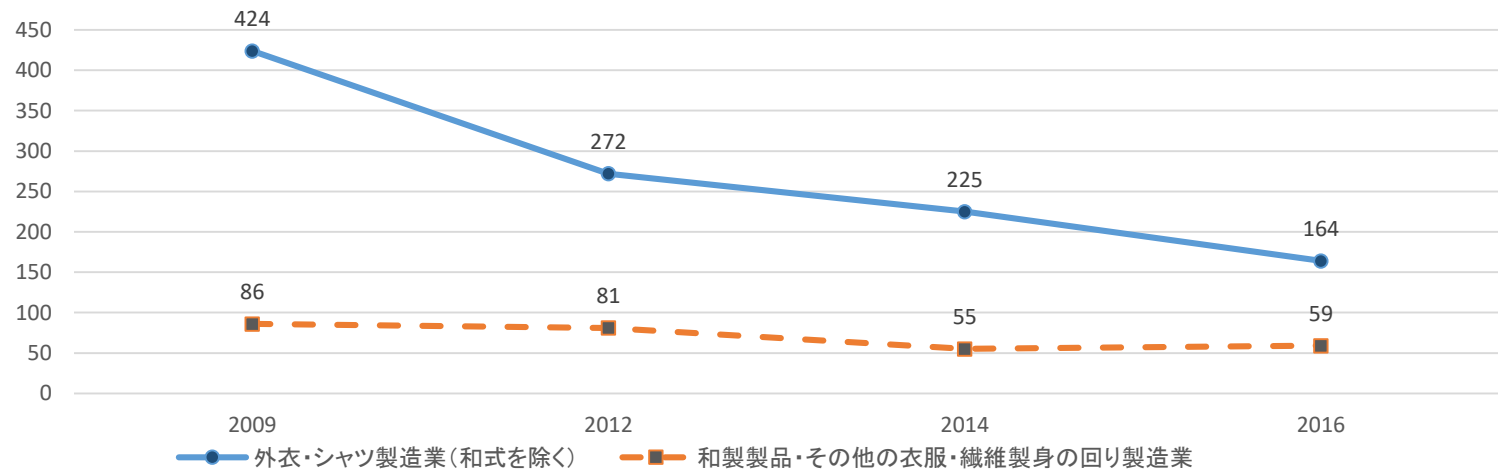
資料)総務省「経済センサス」

北九州市の衣服関係製造業の事業所数等の推移

衣服関係製造業事業所数推移



衣服関係製造業従業者数推移

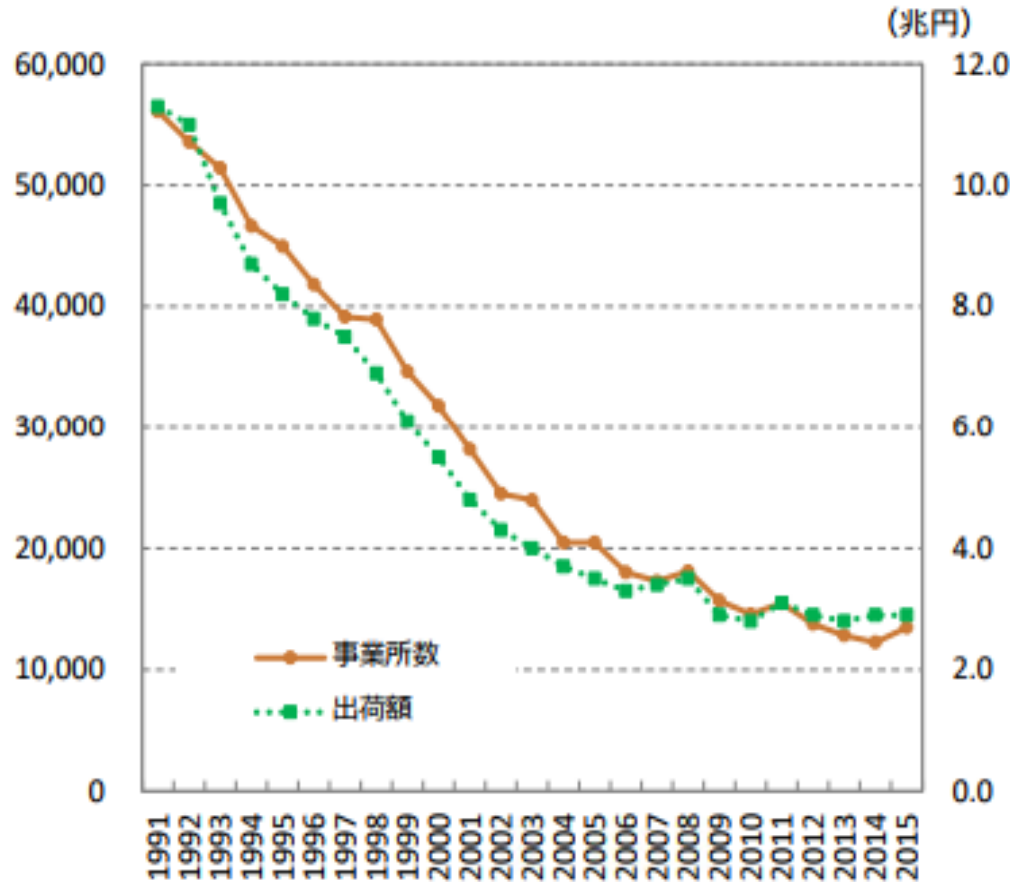


資料) 総務省「経済センサス」
※2009年の区分名は、「外衣・シャツ製造業」、和製製品・その他の衣服等製造業

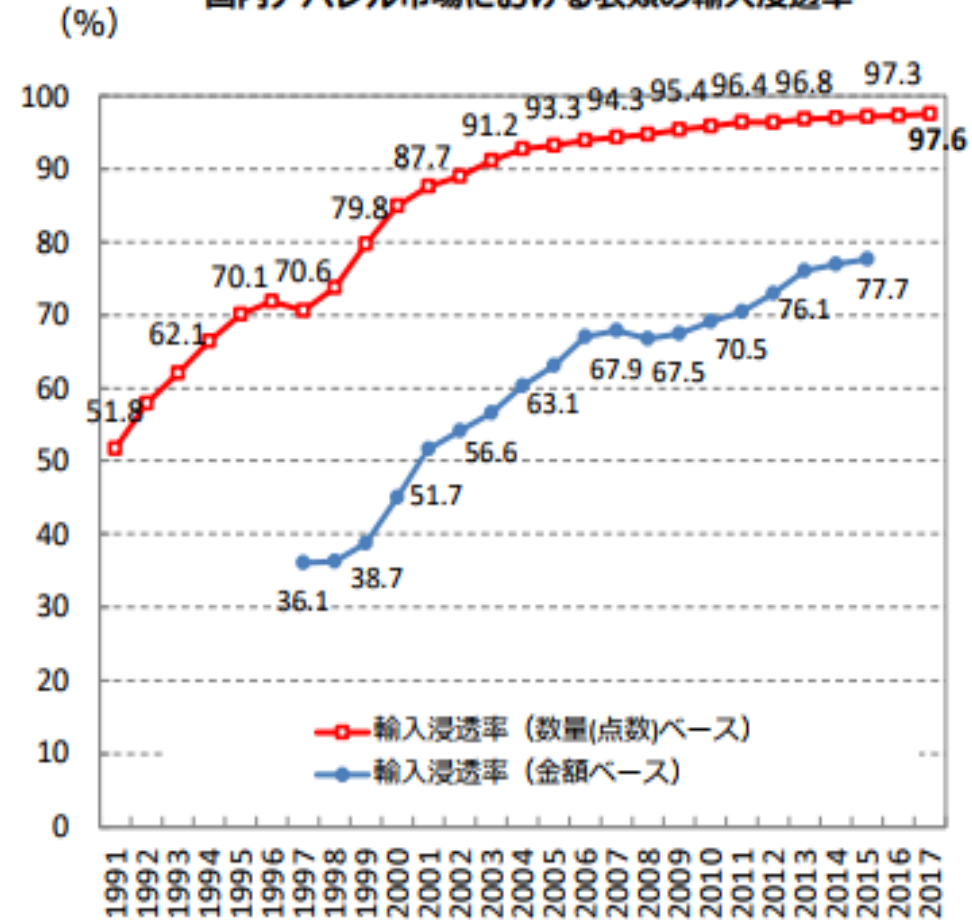
国内の衣類関係産業の概要

- 国内繊維産業の事業所数及び製造品出荷額は、1991年比で約1/4 に減少。
- 国内アパレル市場における輸入浸透率は増加し続けており、2017年には97.6%まで増加。

国内繊維産業の事業所数及び製造品出荷額



国内アパレル市場における衣類の輸入浸透率



資料) 経済産業省製造産業局生活製品課「繊維産業の課題と経済産業省の取組」

第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略①

I 北九州市に魅力あるしごとをつくり、安心して働けるようにする

《基本的方向》

- 若者が「しごと」に求めるニーズを把握した上で、市内企業の魅力発信や仕事の体験、市内外の大学等との連携などにより、若者の市内企業への就職促進やU・Iターン就職の機会拡大を図る。
- 新しい価値を創造するスタートアップ等が起業しやすい環境整備を図り、地域発のイノベーションの継続的な創出を促進する。
- 少子化や経営者の高齢化等を踏まえ、地域経済を支える中小企業において、Society 5.0の実現を目指し、ロボットやIoT、AIの活用を推進することで、生産性向上と収益力強化を図るとともに、円滑な事業承継により、産業の活性化を図る。
- 市内企業をまち全体で応援する風土を育みながら、自然災害リスクの低さ、豊富な理工系人材、産業基盤や都市機能の充実、相対的に安価な地価など、本市の優位性を生かし、若者の雇用創出・拡大につながる企業立地に積極的に取り組む。
- 企業ニーズに沿うオフィスビル等を積極的に供給することにより、事務やIT関連の雇用創出を推進する。
- 産業集積に適した用地を確保するため、重点的に企業立地を促進する区域や集積すべき業種を定め、本市の強みを生かした産業を積極的に誘致する。
- アジアに近く九州の玄関口である地理的特性に加え、24時間離発着可能な北九州空港や東九州自動車道、黒崎バイパス等の物流ネットワークといった恵まれた社会資本を活用し、交流人口の増加や、物流の拠点化につながる施策を進めていく。
- 環境、エネルギー産業のトップランナーとして走り続けてきた実績を背景に、国際的な視野から地球温暖化対策に積極的に取り組むことなどにより、ビジネスチャンスの一層の拡大を図る。
- 我が国における近代産業発祥の地としてのものづくり基盤の集積や、循環型社会づくりのイニシアティブをとってきた強みを生かし、環境、新産業分野等の振興を加速するとともに、アジアに開かれた人材育成の拠点化を促進することにより、研究・開発部門を含めた、高い将来性のある雇用の創出・ビジネスチャンスの一層の拡大を図る。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

2 地域経済活性化の推進

(1) 創業支援

産・学・官・金が連携したスタートアップ支援やリノベーションまちづくりの推進による都市型新産業の創出を図ることにより、日本一起業家に優しいまちづくりを推進する。

第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略②

(2) 中小企業の生産性向上、事業承継の推進

ニッチトップ、グローバルニッチトップ企業など、本市の中核となる中小企業の経営力強化及び技術力・販売力の向上を図るとともに、ITを活用した商業・サービス産業の生産性向上を推進する。また、事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることにより、市内中小企業の円滑な事業承継を推進する。

(3) 若者の雇用創出・拡大につながる企業誘致

研究開発分野等の本社機能等の移転を推進するとともに、IT関連企業の地方拠点強化に向けて、若者、特に大学生が希望するオフィスでの仕事の受け皿として、本社機能等やIT関連企業の誘致を強化する。

(4) ロボット・自動車などリーディング産業の振興

人口減少や高齢化による労働力不足の課題に対して、ロボット等の研究開発及び導入支援を推進する。また、次世代自動車産業を牽引する高付加価値部品産業の集積や自動走行に関する研究開発・実証の推進等により、産業振興の加速化を図る。

(5) エネルギー産業拠点の形成、さらなる振興

低炭素で安定したエネルギーを地域に供給することを目指し、風力発電・高効率火力発電の立地や地域エネルギー会社によるエネルギーマネジメントを推進する。また、広大な産業用地と充実した港湾インフラを有する風力発電産業等のエネルギー産業の集積を図る。

(6) 北九州空港の大規模な集貨・集客

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延伸を見据えた実績づくりのため、既存路線の維持や誘致、集貨促進を図り、貨物取扱量の飛躍的増大を目指す。また、今後の旅客・貨物の需要増大に対応するため、空港機能の強化・拡大を図る。

(7) さらなる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進

アジアに近い地理的優位性や充実した物流基盤を活用し、北九州港への新規航路誘致及び集貨活動を推進することにより、さらなる物流拠点化を図る。また、臨海部産業用地への企業誘致等に取り組むことにより、北九州港の利用促進を強化する。

(8) アジアに向けたビジネス展開や国際貢献

アジア諸都市からのニーズが高い分野である環境や水など、都市インフラをハード・ソフトの両面からパッケージでまとめて輸出することにより、アジア諸都市とのネットワーク拡充及び地元企業の海外ビジネス展開支援を推進する。また、インフラ輸出促進のための環境・水処理施設等のOJT受入体制の整備により、アジアからの人材受入育成拠点の形成を図る。

Ⅱ 北九州市への新しいひとの流れをつくる

《基本的方向》

○ 海外への効果的なプロモーションや観光客の受入れ環境の整備、観光振興や大規模イベント開催などにより、インバウンド対策や市外からの集客増を強力に進める。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

2 観光・イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大

(2) 都心部における交流人口拡大

北九州スタジアムを活用した大規模国際大会の開催やイベント等の実施、ポップカルチャー(マンガ・アニメ等)、ファッションをツールとした、まちに新たな集客誘引の流れをつくるイベント等の実施により、都心部における集客交流の推進及びまちのにぎわい創出を図る。

(3) 観光客増に向けた取組

大規模な国際会議やイベント、国内外クルーズ船の誘致等の推進により、ひとの流入・にぎわいの創出を図る。また、首都圏や国内外の企業及びひとに対して、本市の魅力を伝えることができるよう、観光プロモーションやメディアを活用した情報発信の一層の強化を図る。

(4) 北九州空港の利用者数増に向けたさらなる路線の誘致・集客

航空ネットワークの充実強化により、北九州空港の利用者数を増加させ、インバウンドをはじめとした市内の交流人口を増やすことで、消費拡大やにぎわい創出を図っていく。また、さらなる空港利便性向上のためのアクセスの強化を図る。

Ⅳ 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる

《基本的方向》

- 市民がこのまちを愛し、このまちで働き、このまちに住み続けたいと感じるまちとなるよう、シビックプライドを醸成するとともに、若い世代が魅力を感じるまちを創造する。
- 本市の文化、風土、歴史等に根ざした魅力を掘り起こすとともに、都市ブランドの構築を図る。
- スポーツ資源を活用した地域経済の活性化、スポーツを通じた健康増進を図る。
- 早い段階からのふるさと教育・ビジネス教育等を通じて、将来の「地元」を担う人材を育成する。
- 北九州市と下関市の官民が一体となり、観光地としてポテンシャルの高い関門エリアをさらに魅力的なものとし、「滞在・宿泊型」観光地の実現に向けた事業を実施する。

《具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)》

1 都市ブランドの構築

(1)シビックプライドの醸成

本市の誇れる資源(人、もの、文化、歴史等)の積極的なPRや本市ゆかりの先人や伝統文化など、地元の誇りとする文化承継の取組の推進により、市民の本市への「誇り」や「愛着」を育む。また、持続可能なよりよいまちを目指して、多様な主体が協働し、資源を活かした地域課題の解決ができる人を育む。

(3)文化芸術による創造都市・北九州の発信

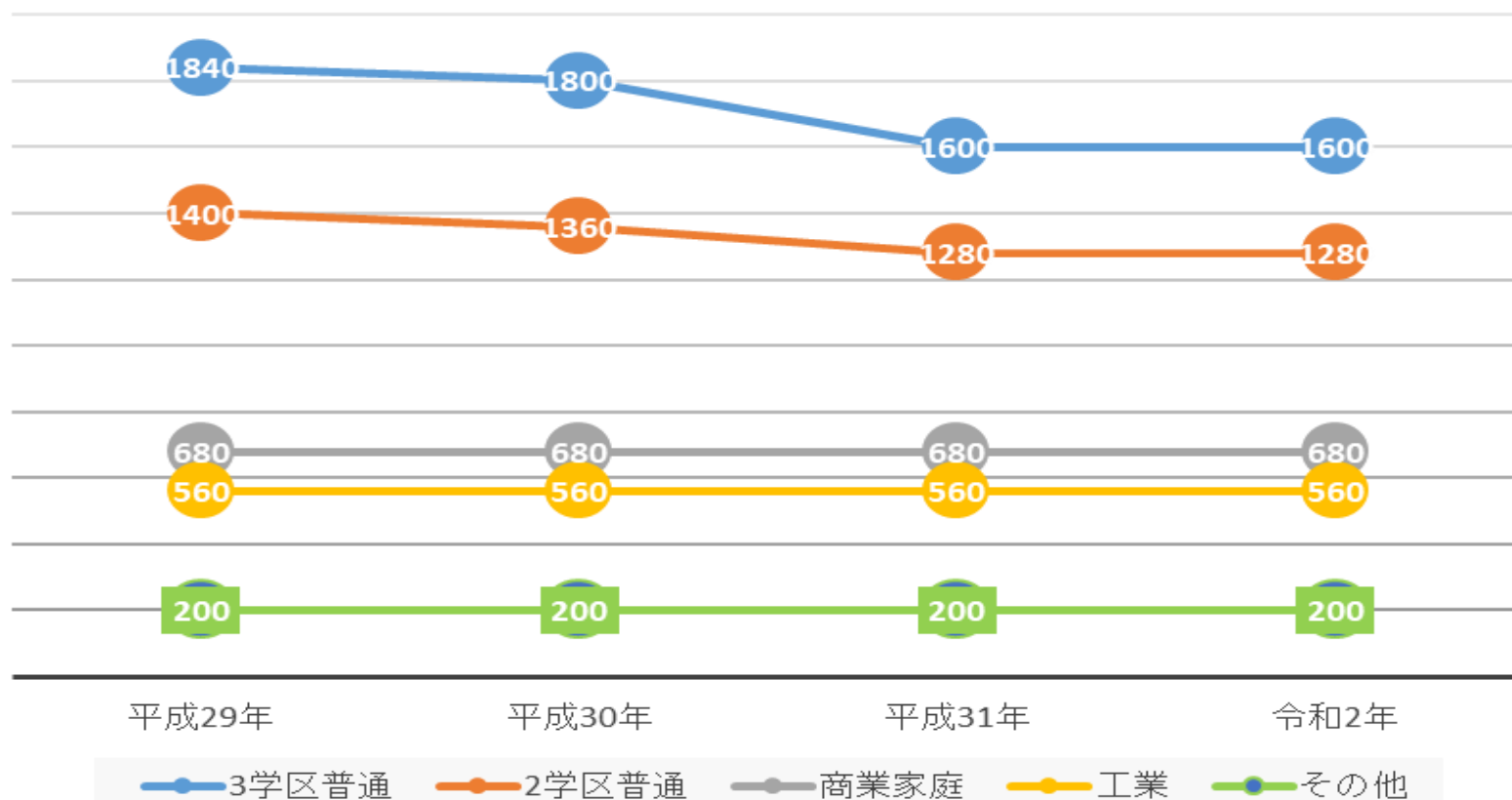
本市が誇る文化資源を顕彰し、シビックプライドを醸成するとともに、市内に点在する多くの文化的素材を活かした多彩な文化芸術事業の取組により「創造都市・北九州」を発信する。また、フィルム・コミッションの活動を推進し、「映画の街・北九州」を発信するとともに、映画・ドラマ等の撮影に取り組み、都市ブランドを構築する。

2 地域間連携によるまちの魅力のさらなる向上

(1)関門連携

「かんもん海峡都市」観光まちびらき・形成推進事業の実施により、関門ブランドの構築、関門地域の魅力向上を目指す。また、北九州都市圏と下関都市圏の連携強化により、観光振興を図る。

北九州市内県立高校学科別定員(合計)の推移



第3学区普通	東筑、八幡、北筑など7校
第2学区普通	小倉、戸畑、小倉西など6校
商業・家庭	小倉商 若松商 折尾
工業	小倉工 戸畑工 八幡工
その他	門司大翔館